

(教養セミナー)

## 教 養 セ ミ ナ ー I 〈 P S 〉

### ◇履修方法

教養セミナー I は、I 期に 1 テーマを選択し履修する。

#### I 一般学習目標

少人数による教育を通じて、教員および参加者相互でテーマをめぐって discussion しながら双方向的学習をすることにより、自主的学習態度を身につける。

#### II 個別学習目標

テーマごとに提示する。

#### III 教育内容

テーマ及び担当者：次頁の表のとおり

#### IV 学習及び教育方法

セミナー：自主的かつ双方向的に学ぶ。

#### V 評価の方法

出席を重視し、参加態度、理解度、発表内容、発表能力等を総合的に評価する。

#### VI 推薦する参考書

テーマごとに提示する。

I 期開講教養セミナー 一覧

	テーマ	担当教員	開講予定時限
人 文 社 会	組織的不祥事事例の分析 医療倫理事例研究入門 作文技術特訓 英語文献講読	神谷 隆一 竹山 重光 石井 拓 廣田 麻子	月曜・4限目
自 然 科 学	生命科学は人類に何をもたらしたか 医学におけるフラクタル入門 基礎有機化学演習	平井 秀一 田中 晴喜 多中 良栄	

配当学年：令和3年度入学生（1年次生）

組織的不祥事事例の分析（神谷 隆一）

企業をはじめとする組織における不祥事は後を絶たない。本セミナーでは、組織的不祥事事例をいくつか取り上げ、各々の事件の事実関係、発生原因、再発防止策、法的責任を検討し、組織的不祥事はなぜ起こるのか、再発防止策として何が有効なのかについて考察することを試みる。セミナーは演習形式で行う。

テキストは、樋口晴彦『なぜ、企業は不祥事を繰り返すのか 有名事件13の原因メカニズムに迫る』（日刊工業新聞社）を用い、参考資料を適宜配布する。

医療倫理事例研究入門（竹山 重光）

人間のからだという多様な連関を有するものを介して、道徳的倫理的な諸問題が湧出してくる場、その一つが医学医療である（もう一つは性の場面であろう）。ビデオやDVDなど視聴覚教材を用いてそのような場の事例を検討する。参加者それぞれに対して、みずからの論点を意識し、言語化し、丁寧に表明することが、そして、他のメンバーの表明に傾聴し、受け止めることが求められる。積極的な参加が不可欠である。

作文技術特訓（石井 拓）

大学生として学習を進めるには、これまでに習った勉強法とは違う方法を身につける必要があります。目標を定めて計画的に情報を集め、それを吟味し、考えを深め、それを文章で表現して、発表するという、学問の基本的な方法を辿れるように、それぞれの段階について訓練を積む必要があります。このセミナーでは、特に文章を書くことについて集中的な訓練を行います。そのために必要な下準備についても学びます。予備知識は特に必要ありませんが、ワードプロセッサを使える環境を準備しておけば文章の推敲がしやすくなります。評価は、授業中に課された課題への取り組みに基づいて行ないます。ただし、無断欠席がある場合は評価の対象となりません。テキストは、戸田山和久 著『新版 論文の教室』（NHKブックス）を用います。

英語文献講読（廣田 麻子）

大学では、分野的にも分量的にも時代的にも、多様な英語文献を読むことが求められる。本セミナーでは、毎週集まって同じテキストを読み合わせ、意見を出し合い、討論する。最初はゆっくりと丁寧に読み始め、徐々にスピードを上げていきたい。テキストは、J.K.Rowling, Harry Potter and the Chamber of Secrets-Gryffindor Edition (Bloomsbury, 2018) ISBN 9781408898109 を用いる。

生命科学は人類に何をもたらしたか（平井 秀一）

20世紀の後半から現在までの間に生命科学はかつて無い急速な進展を見せ、生命現象に関する謎の多くが解き明かされてきた。今でも年間優に20万を超える生命科学に関する研究論文が発表されている。即ちこれだけの数の新発見があるということである。しかもこの数は年々増加する傾向にある。生命の上に覆い被さっていた謎のベールを次々と剥ぎとることは、何事も説明しないと気が済まない人間の本能的欲求を満たすと同時に、人類に（研究者さえ）予想もしなかった福音と絶望をもたらした。このセミナーではいくつかの“生命の謎”を取り上げ、今それがどこまで解明されているかを調査すると共に、謎の解明が人類に何をもたらしたかについて討議することにより、生命科学を身近な物にしていきたい。

#### 医学におけるフラクタル入門（田中 晴喜）

「ある形状の中に同じ形状のものがある」というフラクタルの考え方は、今や数学だけでなく、アート、物理学、化学、生物学、医学、画像解析など多岐な分野に応用されている。特に、医学の分野ではCT・MRI等から得られるデジタル画像の複雑さを定量化する手法の1つとしてフラクタル理論が用いられている。このセミナーでは、まずフラクタルの基礎的知識を学んだあと、これら医学におけるフラクタルについて、書籍、雑誌、インターネット等を用いて調べ発表し、皆で議論し合う。また、画像解析への視野を広げることを目指す。

#### 基礎有機化学演習（多中 良栄）

高校で履修してきた有機化学は、主として「どのような反応・現象が生じるのか」を扱っている。大学で履修する有機化学では、「なぜそのようになるのか」「どのようにして進行するのか」を論理的に考え、生体内で起こる反応を化学的にとらえる基礎を作る。本セミナーでは、混成軌道や共鳴構造などについて、グループワークや演習を行うことにより、有機分子の構造や性質、反応性等に対する理解を深め、有機化学を体系的にとらえることを目指す。

## 講義日程表(教養セミナーⅠ 組織的不祥事事例の分析)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R3.4.12	(月)	4	ガイダンス	法学教室	神谷
2	R3.4.19	(月)	4	テキスト第1講 農薬混入事件①	法学教室	神谷
3	R3.4.26	(月)	4	テキスト第1講 農薬混入事件②	法学教室	神谷
4	R3.5.10	(月)	4	テキスト第2講 インサイダー取引事件①	法学教室	神谷
5	R3.5.17	(月)	4	テキスト第2講 インサイダー取引事件②	法学教室	神谷
6	R3.5.24	(月)	4	テキスト第5講 循環取引事件①	法学教室	神谷
7	R3.5.31	(月)	4	テキスト第5講 循環取引事件②	法学教室	神谷
8	R3.6.7	(月)	4	テキスト第7講 労働安全衛生法違反事件①	法学教室	神谷
9	R3.6.14	(月)	4	テキスト第7講 労働安全衛生法違反事件②	法学教室	神谷
10	R3.6.21	(月)	4	テキスト第12講 保育所における児童死亡事故①	法学教室	神谷
11	R3.6.28	(月)	4	テキスト第12講 保育所における児童死亡事故②	法学教室	神谷
12	R3.7.5	(月)	4	テキスト第13講 遊戯施設での死亡事故①	法学教室	神谷
13	R3.8.23	(月)	4	テキスト第13講 遊戯施設での死亡事故②	法学教室	神谷
14	R3.8.30	(月)	4	授業のまとめ	法学教室	神谷

# 講義日程表(教養セミナーⅠ 医療倫理事例研究入門)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R3.4.12	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
2	R3.4.19	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
3	R3.4.26	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
4	R3.5.10	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
5	R3.5.17	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
6	R3.5.24	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
7	R3.5.31	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
8	R3.6.7	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
9	R3.6.14	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
10	R3.6.21	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
11	R3.6.28	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
12	R3.7.5	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
13	R3.8.23	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
14	R3.8.30	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山

## 講 義 日 程 表(教養セミナー I 作文技術特訓)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R3.4.12	(月)	4	ガイダンス、執筆テーマ検討	心理学	石井
2	R3.4.19	(月)	4	執筆テーマに関する下調べ	心理学	石井
3	R3.4.26	(月)	4	アウトライン作成	心理学	石井
4	R3.5.10	(月)	4	初稿執筆	心理学	石井
5	R3.5.17	(月)	4	初稿執筆	心理学	石井
6	R3.5.24	(月)	4	初稿 概要発表と検討	心理学	石井
7	R3.5.31	(月)	4	改稿準備	心理学	石井
8	R3.6.7	(月)	4	改稿	心理学	石井
9	R3.6.14	(月)	4	改稿	心理学	石井
10	R3.6.21	(月)	4	改訂稿 概要発表と検討	心理学	石井
11	R3.6.28	(月)	4	最終稿 執筆準備	心理学	石井
12	R3.7.5	(月)	4	最終稿 執筆	心理学	石井
13	R3.8.23	(月)	4	最終稿 概要発表と検討	心理学	石井
14	R3.8.30	(月)	4	最終稿 概要発表と検討	心理学	石井

## 講義日程表(教養セミナーⅠ 英語文献購読)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R3.4.12	(月)	4	The Worst Birthday	英語	廣田
2	R3.4.19	(月)	4	Dobby's Warning	英語	廣田
3	R3.4.26	(月)	4	The Burrow	英語	廣田
4	R3.5.10	(月)	4	At Flourish and Blotts	英語	廣田
5	R3.5.17	(月)	4	The Whomping Willow	英語	廣田
6	R3.5.24	(月)	4	Gilderoy Lockhart	英語	廣田
7	R3.5.31	(月)	4	Mudbloods and Murmurs	英語	廣田
8	R3.6.7	(月)	4	The Deathday Party	英語	廣田
9	R3.6.14	(月)	4	The Writing on the Wall	英語	廣田
10	R3.6.21	(月)	4	The Rogue Bludger	英語	廣田
11	R3.6.28	(月)	4	The Dueling Club	英語	廣田
12	R3.7.5	(月)	4	The Polyjuice Potion	英語	廣田
13	R3.8.23	(月)	4	The Very Secret Diary	英語	廣田
14	R3.8.30	(月)	4	Cornelius Fudge	英語	廣田

## 講義日程表(教養セミナー I 生命科学は人類に何をもたらしたか)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R3.4.12	(月)	4	ガイダンス	生物学	平井
2	R3.4.19	(月)	4	生命科学に関する最新のトピックス	生物学	平井
3	R3.4.26	(月)	4	ワークショップ	生物学	平井
4	R3.5.10	(月)	4	研究発表・討論	生物学	平井
5	R3.5.17	(月)	4	研究発表・討論	生物学	平井
6	R3.5.24	(月)	4	研究発表・討論	生物学	平井
7	R3.5.31	(月)	4	研究発表・討論	生物学	平井
8	R3.6.7	(月)	4	研究発表・討論	生物学	平井
9	R3.6.14	(月)	4	研究発表・討論	生物学	平井
10	R3.6.21	(月)	4	研究発表・討論	生物学	平井
11	R3.6.28	(月)	4	研究発表・討論	生物学	平井
12	R3.7.5	(月)	4	研究発表・討論	生物学	平井
13	R3.8.23	(月)	4	ワークショップ	生物学	平井
14	R3.8.30	(月)	4	ワークショップ	生物学	平井



## 講義日程表(教養セミナー I 医学におけるフラクタル入門)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R3.4.12	(月)	4	オリエンテーション、輪読・実習	数学・統計学	田中
2	R3.4.19	(月)	4	輪読・実習	数学・統計学	田中
3	R3.4.26	(月)	4	輪読・実習	数学・統計学	田中
4	R3.5.10	(月)	4	輪読・実習、又は発表・討論	数学・統計学	田中
5	R3.5.17	(月)	4	輪読・実習、又は発表・討論	数学・統計学	田中
6	R3.5.24	(月)	4	輪読・実習、又は発表・討論	数学・統計学	田中
7	R3.5.31	(月)	4	輪読・実習、又は発表・討論	数学・統計学	田中
8	R3.6.7	(月)	4	輪読・実習、又は発表・討論	数学・統計学	田中
9	R3.6.14	(月)	4	輪読・実習、又は発表・討論	数学・統計学	田中
10	R3.6.21	(月)	4	発表・討論	数学・統計学	田中
11	R3.6.28	(月)	4	発表・討論	数学・統計学	田中
12	R3.7.5	(月)	4	発表・討論	数学・統計学	田中
13	R3.8.23	(月)	4	発表・討論	数学・統計学	田中
14	R3.8.30	(月)	4	発表・討論	数学・統計学	田中

## 講義日程表(教養セミナー I 基礎有機化学演習)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R3.4.12	(月)	4	ガイダンス	化学	多中
2	R3.4.19	(月)	4	グループ単位でのワーキング:原子軌道・混成軌道	化学	多中
3	R3.4.26	(月)	4	発表・演習:原子軌道・混成軌道	化学	多中
4	R3.5.10	(月)	4	発表・演習:原子軌道・混成軌道	化学	多中
5	R3.5.17	(月)	4	グループ単位でのワーキング:立体化学・異性体	化学	多中
6	R3.5.24	(月)	4	発表・演習:立体化学・異性体	化学	多中
7	R3.5.31	(月)	4	発表・演習:立体化学・異性体	化学	多中
8	R3.6.7	(月)	4	グループ単位でのワーキング:共鳴	化学	多中
9	R3.6.14	(月)	4	発表・演習:共鳴	化学	多中
10	R3.6.21	(月)	4	発表・演習:共鳴	化学	多中
11	R3.6.28	(月)	4	グループ単位でのワーキング:酸・塩基	化学	多中
12	R3.7.5	(月)	4	発表・演習:酸・塩基	化学	多中
13	R3.8.23	(月)	4	発表・演習:酸・塩基	化学	多中
14	R3.8.30	(月)	4	総括	化学	多中